

東京都森林組合ニュース

杣のみち

そま

JForest 東京都森林組合

〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町平井2759
 TEL: 042-588-7963 FAX: 042-597-5263
 info@tokyo-sinrin.com https://www.tokyo-sinrin.com
 発行人: 木村康雄 発行所: 東京都森林組合 発行日: 令和5年10月
 印刷所: 株式会社アートプレス

第
62
号

新たに就任された総代の皆様のご紹介

令和5年9月8日(金)付で、全正組合員へ東京都森林組合総代選挙の通知及び公告を行いました。

立候補及び推薦届け出が期限までに定数を超えなかったため、総代選挙規程第18条により令和5年9月23日(土)、総代の当選者が確定し、同年10月13日(金)に総代200名が新たに就任されました。

任期は令和5年から8年までの3年間となります。

新たに総代になられた方、また引き続き就任された皆様、どうぞよろしく願いいたします。

なお、退任されました総代の皆様、これまで総代にご就任頂き心より御礼申しあげます。

(五十音順・敬称略)

区域名	区 域	氏 名																				
第1区	八王子市 (16名)	大塚 忠男	小川 洸太郎	尾崎 覚	尾崎 重明	尾崎 充紀	小沢 豊	金子美智子	亀谷 行雄	澤井 康久		清水 智勝	高鳥 正明	田中 和敏	松崎 光雄	守谷好太郎	山本 保仁	米山 佳孝				
		青木 初雄	青木 浩樹	青柳 茂雄	新井 満	市川 昌男	井上 顯	井上 岩男	内野 隆司	大谷 安彦		沖 祐昭	小澤 健一	片柳 大亮	加藤 匡	加藤 良蔵	金井 格	川村利喜雄	久保 武義	佐藤 敦子		
第2区	青梅市 (46名)	白井 肇	須崎 昭	須崎 勝	鈴木 重司	関塚 聡明	高橋 正	高橋 保	高山 登	田村 泰宏		檀島 安	野島 壯一	野村 貞良	野村 勝	橋本 光正	林 悦子	林 和夫	原島 厚夫	福田 珠子		
		町田 秀夫	武藤 明博	武藤 英司	本吉 雅子	柳内 忠知	山崎 茂	横手 良夫	若林 博司	若林 正樹		渡邊友一郎										
		網野 武司	荒井 祐一	池谷 勝利	池谷 善郎	内山 章	内山 正美	浦野 広美	沖倉 征史	乙訓 孝男		乙訓 義徳	乙訓 由己	加藤 章雄	金子 進	金嶽 正邦	私市 洋	岸 忠史	黒山 準一	黒山 忠成		
		小杉 春朗	小机 恵次	小峯 忠雄	小山 景子	清水 達夫	志村 義久	世良田 繁	高野 一男	高橋 徹		高橋 由夫	田嶋 信三	田中 英雄	田中 嘉幸	中島 隆宏	沼田 満雄	沼田 隆治	松村 和夫	南澤 勝久		
		峰岸 良夫	森下 茂樹	森田 康大																		
第4区	日の出町 (24名)	青木 崇	遠藤 幹夫	大坂 豊	小作 周司	木住野佑治	北島 秀樹	篠崎 宏	篠田 孝廣	嶋崎 康記		下野 光久	須崎 栄	高橋 正文	田中 康夫	野口 修史	野口 裕司	橋本 聡	馬場 敏明	羽生 勝夫		
		羽生 英昭	浜中 国男	濱中 正行	浜中 好夫	宮岡 義基	山崎 茂樹															
		浅見 奉功	石川彌八郎	榎戸 信幸	大野 尚	小川 正人	奥平 泰美	小澤 未明	加藤 健	河村 尚茂		木村 圭	小峰 一郎	小峰 英次	酒井 卓真	坂村 勝	坂本 秀一	佐久間一三	澤本 和容	實森 透		
第5区	奥多摩町 (41名)	島崎 教男	清水 明	清水 久昭	志茂 剛之	須崎 眞	高山 守正	田中祐四郎	浜野 武雄	原島 金廣		原島 常幸	原島 浩	原島 正雄	原島 正之	原島 幸次	原島 之利	古屋 良司	保科 正廣	堀口 泰宏		
		増田 昭治	森田 哲哉	森田 伸生	森田富實雄	吉野 明美																
		井上 文喜	宇田 俊史	大谷 公重	大谷 正平	久保田一弘	小泉 民行	小林 貴	嶋崎 大作	嶋田 勇治		清水 茂樹	清水 富蔵	清水 満男	杉田 正雄	高木 一雄	高木 省次	高木 正一	高橋 勇	田倉 栄		
		武田 雅由	田中 惣一	土屋 國武	土屋 繁夫	中村 昭則	中村 乙吉	野口 聖紀	野村 英記	濱中 寛治		福田 宮夫	振屋 進	峰岸 清義	峯岸 葵	森田 久雄	山崎 源重	吉野 一成				

もり 森林からの便り 1

健全な森と木材をつくるために行う間伐

日本の人工林の殆どは、成長が早く比較的真っすぐに育ちやすい針葉樹のスギ・ヒノキを多く植え、育てられています。

古来より建築材として良質な材木をつくるためには、木材が真っすぐでなければなりません。

多摩地域では、苗木を植える密度を1ha（1万㎡）あたり3,000本（1坪3.3㎡に1本）と高密度に植え付けることで、木は窮屈な中で太陽を求めて上へ真っすぐに伸びながら育ちます。その木は約20年経過すると幹が太くなり、枝が混み合い、木々の成長を妨げる状況となります。

そうした状況から木の生育にばらつきが出てきた頃に劣勢木などを「間伐」（間引く）することで樹冠^{*1}に余裕が生まれ、残った木が育ちやすい環境となり、木材利用に適した木々が育成されます。

東京都は意外にも急峻な地形が多く、間伐し搬出することが困難な場所が多いことから、主に切り捨て間伐が行われていますが、切り捨てられた木にも役割があります。

伐採した木は枝葉を払い、幹は玉切り^{*2}にして切り株などに掛けて横に伏せます。伏せられた木によって土や石、岩などが山から流れ出るのを防ぎ、やがて微生物が木を分解することで土壌の養分となります。

間伐は森林の健全化と多面的機能の維持・向上に欠かせない作業です。間伐を適切に実施することで、森林が持続的に利用されるようになり、私たちの暮らしを支えています。

*1 樹冠：樹木の上部、枝や葉の集まった部分

*2 玉切り：用途に応じた長さに切断して丸太にすること



間伐による劣勢木間引き後



間伐作業前

もり 森林からの便り 2

とうきょう林業サポート隊 事業内容の紹介

とうきょう林業サポート隊は、東京都が進めている「伐って・使って・植えて・育てる」という森林の循環を促進する事業の一環として、平成27年10月に設立されました。

事業を運営している（公財）東京都農林水産振興財団より当組合が委託を受け、参加者へ作業の指導や安全講習、現場管理などを行っています。

サポート隊では、林業の作業種の中でも、ボランティアの皆さんが手工具などを使って比較的安全にできる「植えて・育てる」作業を主に行っています。

春の「植栽」、夏の「下刈り」作業に加え、「除伐」や「枝打ち」、それらの作業を安全かつスムーズに行うため、事前に前段階の作業である「大刈り」や、林内を安全に移動するための「作業道作り」などの作業を行っています。

参加者の皆さんの動機も、定年後の余暇を楽しみたい人、都会の喧騒を離れて自然の中で汗を流したい人、これから林業を学びたい人等様々ですが、多くの方に共通しているのは、「森林を整備し環境を守るために何かお手伝いしたい」という想いがあり、また、森林を守り育てる重要性を理解していただいています。

発足当初は比較的高めだった参加者の年齢層は、近年の自然・環境への国民的な関心の高まりもあり、現在は高校生や大学生の参加も増加傾向となっています。

こうした状況から未来の社会を担う人々に、林業全般の興味を深めていただくため、作業の目的や技術の向上を図り、森林・林業に関する広い知識を正しく伝えていくことが我々指導員に課せられた使命と感じています。

これからも参加者のニーズに応えつつ、安全第一で楽しい活動を続けてまいります。なお、詳細及び参加申込は、とうきょう林業サポート隊事務局にお問い合わせください。



ある活動日の様子

秋川消防署より感謝状を授与

当組合では、森林整備作業や組合事務所等で発生する怪我や病気に備え、心肺蘇生、AED(自動体外式除細動器)の使用方法や外傷の応急手当、搬送法などの救命技能を学ぶため、東京消防庁が主催する「上級救命講習」を積極的に受講しています。

この講習は3年間の認定期間が定められていることから、定期的に受講を行った結果、この度、多年にわたる救急業務の充実発展に貢献したことが認められ、本年9月9日(土)の「救急の日」に、秋川消防署より感謝状が当組合へ贈呈され授与いたしました。



右 秋川消防署長、左 木村組合長

令和6年度 東京都林業関係予算に関する 要望書の提出

令和5年8月30日(水)・9月4日(月)に東京都議会の各政党へ「令和6年度東京都林業関係予算の要望書」を提出し説明を行いました。

当日は、当組合より木村組合長、山崎副組合長、齋藤専務、大野部長、(一社)東京都森林協会より三谷会長、東京都治山林道協会より柴田専務、東京都林業研究グループ連絡協議会より野島会長の計7名が出席し、新たな要望項目として「森林循環の促進に向けた対策の強化」と昨年度までの継続した要望を行いました。

【要望先政党名】

都議会自由民主党／都民ファーストの会
東京都議団／都議会公明党／都議会立憲民主党



無料 法務・税務相談会を開催します!!



ベテラン弁護士と税理士が法律問題・相続税・贈与税など組合員の皆様が気になる質問にお答えします。

と き 12月7日(木) 午後1時より(予定)
と ころ 東京都森林組合 本所(日の出町)
(ご希望によりご自宅からのWeb会議も可能です)

対 応 者 法務 はたの ようこ 波多野 曜子 氏
CFP (日本FP協会認定 本組合顧問弁護士)
税務 このい ひでのり 五ノ井 秀典 氏
(東京税理士会所属 本組合顧問税理士)

対 象 者 組合員の皆様
応 募 方 法 相談を希望される方は本広報誌に同封の応募用紙に必要事項をご記入いただき、当組合本所までFAX (042-597-5263)またはメール (soudan@tokyo-sinrin.com)でお申込みください。

Web会議希望の方はメールアドレス及びPC環境等が必須となります。

応 募 締 切 11月17日(金)
申し込みました方には後日連絡いたします。ご相談お待ちしております。

新入職員紹介

前田 慎太郎 (まえだ しんたろう)

令和5年8月1日(火)より総合企画部にて勤務することになりました前田 慎太郎と申します。

主に柚のみち(本誌)の発行や、イベント類の企画・調整、組合内の健全な運営を促す規程管理などを担当してまいりますので、間接的な関わりにはなるかと思いますが、よろしくお願ひいたします。

これまで自身が身近に過ごしてきた森林が、管理されることなく放置されている姿を望む者などいないと思います。東京の森林を自身の手で管理し、常に発展し続ける大都会東京と共に歩み続けることのできる森林・林業にしたいと考え入組いたしました。

趣味はコーヒーを焼くこと、淹れること、飲むこと。多摩エリアの隠れた名店情報など、森林の話と併せて情報交換させてくださいませ。



石田 剛基 (いしだ ごうき)

令和5年9月1日(金)より森づくり推進部に有期契約職員として勤務することになりました石田 剛基と申します。

出身は八王子市で幼い頃から自然環境を人の手で支える林業に憧れを持っていたため、私自身も森を管理し、育てる仕事をしたいと思い、東京都森林組合に就職させていただきました。

東京都の森林、林業の重要性と面白さを、知識や技術面を通して伝えていくことを将来の目標としています。

今後は森林施業員として現場で活躍したいと考えています。11月までにチェーンソーと刈払機の講習を受け終わるため、現場作業に同行し、知識を得ながら少しでも早く戦力になれるように努めて参ります。

初めての森に関わる仕事で、至らぬ点多々ありますが、どうぞよろしくお願ひいたします。



も 森林からの贈りもの 1

TOKYO MOKUNAVI出展

令和5年9月15日(金)、新宿パークタワー リビングデザインセンター OZONE 7階におきまして、「とうきょうの木」の魅力発信拠点TOKYO MOKUNAVI(トウキョウモクナビ)ショールームが開設されました。

このTOKYO MOKUNAVIは、東京の森林と「とうきょうの木」の恵みを感じることができる体験型ショールームとして、東京都が運営しています。

当組合からは、(有)エム工房が設計開発し当組合が多摩産材の檜材で製作したアールベンチという製品を出展致しました。

このアールベンチは背もたれには「とうきょうの木」のロゴをレーザー彫刻し、屋内外どちらにも対応可能な製品で、角材であることを感じさせないカーブの座面と背もたれは、人間工学に基づいて設計されており、ゆったりゆっくり座ることが出来ます。

9月15日の開設式では、小池 百合子東京都知事にアールベンチにお座りいただき、当組合の木村組合長よりアールベンチの説明を行い、背を伸ばしてリラックスできることを体感していただきました。

新宿においでの際は是非TOKYO MOKUNAVIに足をお運びいただき、アールベンチでゆったりとしたひと時を感じてみてはいかがでしょうか。

TOKYO MOKUNAVIサイト

<https://tokyomokunavi.metro.tokyo.lg.jp/>



上野恩賜公園 開園150周年 総合文化祭に出展しました

我が国における都市公園制度の開始から今年で150年を迎え、最初の都市公園である上野恩賜公園において、10月19日（木）から10月22日（日）までの4日間にわたり総合文化祭が開催されました。

この記念すべき文化祭に、当組合では「とうきょうの木」を利用した升や、干支などの根付を始め各種木工品販売、子供たちが木に触れ合い手に取って遊ぶことのできる積み木コーナーの設置など、「とうきょうの木」に触れ親しんでいただきました。

東京にも森林があり、木材が採れることに驚くお客様や、スギ・ヒノキを使用した積み木に触れ、香りに喜ぶ子供たちなど、都心の暮らしの中では感じることのできない東京の新たな一面を楽しんでいただくことができたと感じました。

会場では地元の飲食ブース、上野恩賜公園の歴史に関するブース、子供も遊べるワークショップなど、永く上野の街・人たちと共に歩んできた公園ならではの文化祭となりました。



根付を選んでいるお客様

柚のみちバックナンバー

組合ホームページから柚のみちバックナンバー（第54号（2021年10月号）より）がご覧いただけます。是非以下のURLをご検索ください。

<https://tokyo-sinrin.com/about/magazine/>



弘沢の滝ふるさと夏まつりで 「ひのじゃがくん」が大人気!

檜原村主催による「第35回弘沢の滝ふるさと夏まつり」が、8月19日（土）、20日（日）の2日間にわたり4年ぶりに開催され、檜原村内外から約1万人を超える来場者があり大盛況のうちに終了しました。

当組合では、両日にわたりお子様向けの木工クラフトワークショップや木製品の販売を実施し、特に檜原村のイメージキャラクターを象った「ひのじゃがくん根付」の反響が高く、ゆるキャラが地域に根付き支持されていることを感じました。

開催された両日の天気予報は、当初2日間にわたり台風の影響から大雨も予想されていましたが、幸運にも天候は持ち直し、いつもは静かな清流の音が流れる檜原事業所下部の河原より打上げられた花火のダイナミックな音と光の迫力に魅了され、来場者の方々は階段脇などに場所を取り、4年ぶりの風物詩を堪能されていました。

当組合の檜原事業所も本年4月に新たな施設となり、地域の皆様との連携を図れる施設として運営してまいります。

新型コロナウイルスにより、イベントや交流などが制限されていましたが、今後も「弘沢の滝ふるさと夏まつり」を始め様々なイベントが開催されることを願っています。



ブースでは様々な木製品を販売しました

インターンシップ・林業体験の受け入れ

大学生インターンシップ

大学生及び林業大学校生徒を対象とした、インターンシップの受け入れを夏休み期間中となる8月7日(月)から8月10日(木)までの4日間にわたり行いました。

今年度は東海大学(1名)、日本大学(2名)、岐阜県立森林文化(2名)の学生5名(男性3名、女性2名)が参加し、下記のとおり実施いたしました。

1日目 東京の林業の現状、組合の概要、各部署の業務内容等の説明

2日目 森林循環促進事業の下刈現場見学(青梅市沢井)、シカ柵設置現場見学(青梅市柚木)、境界明確化事業の現場見学(奥多摩町小丹波)他

3日目 森林循環促進事業の主伐現場見学(日の出町大久野)、集約化事業の現場見学(日の出町大久野)、多摩木材センター視察他

4日目 販売加工所の業務内容(檜原村)、研修報告他

当組合における人材確保においても、森林・林業関係への関心も高まる中、積極的なインターンシップの受け入れやリニューアルしたホームページによる問い合わせ等の対応により、職員の採用に繋がることができればと考えています。



主伐現場の機械を前に圧倒されていました



事業所内の見学も行いました

東京都教育庁林業体験

東京都教育庁が進める「東京の教育資源(森林・林業)を活用した教育活動の推進事業」の一環として都立高校の学生12名を対象とした林業体験の指導を8月21日(月)22日(火)の2日間にわたり以下の内容で行いました。

1日目 講義「東京の森林・林業」、下刈りに係る安全講習

2日目 現場(青梅市梅郷)での下刈り作業

参加された生徒は、自身で林業に興味を持ち応募してきた学生達ということもあり、意欲が高く積極的に講師へ質問を投げかけ、疑問に感じたことはその場で解決しようとする姿が印象的でした。

下刈り作業現場は、日陰が少なく、気温の高い現場でしたが、汗をかきながらも確実に作業を進めて無事に終了することが出来ました。

今後も身近にありながら中々関わりが持てない東京の森林の役割や木を育てるための作業体験等を通して、若い世代の方々に興味を持ってもらう機会を提供してまいります。



東京の林業について学びました



急斜面の現場で下刈り作業を体験

大久野中職場体験学習

本年も大久野中学校職場体験学習を9月14日（木）15日（金）の2日間にわたり日の出町立大久野中学校2年生の岡野 心優（オカノ シュウ）君と村野 友香（ムラノ ユカ）さんの2名が参加し、以下の内容により実施いたしました。

1日目 下刈り作業、及びシカ柵設置目的の説明、現場（青梅市梅郷）での下刈り作業体験

2日目 東京の森林・林業及び組合概要の説明、加工所（檜原村）での作業体験

下刈り作業では、気温が高い中で汗水垂らしつつ現場作業を一生懸命行い、加工所では、自身の頭の中で考えたものを木工で表現する楽しさ等が体験できた貴重な機会になったと思います。

今後も身近にある森林に関する体験学習の場を提供してまいります。



鎌を使って背丈より高い草を刈ります



「とうきょうの木」を使って加工作業を行いました

農林水産振興財団 花粉対策室からのお知らせ

多摩川北岸地域（奥多摩町）での主伐事業が始まります。

公益財団法人東京都農林水産振興財団花粉対策室では、シカによる食害等の問題から奥多摩町が多摩川北岸地域については、主伐事業を控えておりました。

しかし、植栽後にシカ柵等を設置することにより、被害を最小限に抑え植栽木の生長を促すことができることから、東京都や奥多摩町の指導を受けながら、森林循環促進事業（主伐事業）を実施することとなりました。

本事業は、40年生以上のスギやヒノキを伐採し、花粉の少ないスギ・ヒノキに植え替える事業で、東京都からの出えん金、企業等からの寄付及び募金等により実施しています。

本事業にご協力いただける森林所有者の方は、右記までご連絡ください。参考に主伐事業に関する折り込み資料もご覧ください。

なお、該当森林が市町村で実施する森林再生事業を実施している場合であっても条件を満たせば伐採できる場合があります。

また、お持ちの森林が砂防指定地に指定されている場合には、伐採できない場合があります。

【問い合わせ先】

〒198-0036

東京都青梅市河辺町6-4-1 青梅合同庁舎3階

公益財団法人東京都農林水産振興財団

花粉対策室

担当：巽（タツミ）、河村（カワムラ）

電話：0428-20-8134

組合員の皆さまへ

【各種変更手続について】

組合からの重要なお知らせが届かなくなり、大切な所有山林の管理等に支障をきたす恐れがあります。

つきましては、次のような事例の場合、組合までご連絡をお願いいたします。

- 事例1：組合員【名義人】が死亡し、相続が発生した
- 事例2：組合への届出住所が転居により変更した
- 事例3：売買等により所有山林の面積が増減した

【森林保険への加入推進について】

近年の自然災害の増加傾向を受け、台風や山火事等の災害による森林被害に対し、貴重な財産である森林を守るため少ない費用で大きな損害に備えましょう。

森林保険は、森林所有者の声により誕生した公的な保険制度で、森林災害に備える唯一のセーフティネットです。

各種お問い合わせ先電話番号

購入品・組合員手続・森林保険・賦課金等
総務管理部 ☎042-588-7963

森林整備・森林経営計画・境界明確化等
森づくり推進部 ☎042-503-1046

木材加工品・ホームページ・本紙等
総合企画部 ☎042-503-6586

11月～1月の組合関係行事（予定）

日付	行事	場所
11月 2日(木)	安全パトロール	施業現場各地
11月 9日(木)～11月10日(金)	多摩産材利用拡大フェア	新宿NSビル
11月11日(土)～11月12日(日)	あきる野市産業祭	都立秋留台公園
11月17日(金)	木材利用部会	東京都森林組合本所
11月18日(土)～11月19日(日)	八王子いちご祭り	千人町桑の実公園
11月28日(火)	期中監事監査	東京都森林組合本所
12月 6日(水)	第4回理事会	東京都森林組合本所
12月 7日(木)	法務・税務相談会	東京都森林組合本所
12月18日(月)	森林整備部会	東京都森林組合本所
1月11日(木)～1月12日(金)	WOODコレクション(モクコレ) 2024	東京ビッグサイト 西1・2ホール
1月17日(水)	山の神	未定
1月17日(水)	経営管理部会	東京都森林組合本所

原木市場だより 多摩木材センター協同組合(令和5年10月)

今年7月から9月の市売実績は、スギ、ヒノキともに値下りが続いており、平均単価は、スギは9,000円前後で、ヒノキは1万2千円から1万4千円の間で推移しています。ヒノキの良材(柱材3m、16～18cm)の平均単価も1月には3万円台でしたが6月には1万3千円を割り込みました。その後9月にはやや戻っており、今後、秋から冬にかけての復調を期待したいと思います。

(直近各月市売り実績)

	7月10日	7月25日	8月10日	8月25日	9月11日	9月25日
売上金額(千円)	5,600	5,018	5,137	4,276	6,210	6,039
取扱量(m ³)	556	605	510	439	575	552
平均単価(円/m ³)	10,068	8,282	10,059	9,740	10,796	10,927

(直近各月市売り)スギ・ヒノキの平均単価と取扱量

	7月10日	7月25日	8月10日	8月25日	9月11日	9月25日
スギ(円/m ³)	8,723	7,884	8,912	9,009	8,468	9,454
	304	352	281	254	285	289
ヒノキ(円/m ³)	13,043	10,622	12,567	12,650	16,500	14,198
	200	153	192	137	191	149

(直近各月市売りのヒノキ3m良材、16・18cmの単価の推移 単位:円/m³)

	7月10日	7月25日	8月10日	8月25日	9月11日	9月25日
売上金額(千円)	13,169	13,138	11,047	11,122	16,390	12,765

編集後記

今年の夏はとにかく暑かった! それもそのはず、気象統計を開始した1898年以降で、平均気温が最も高くなったそうです。

東京都で30℃を超える真夏日は、9月までに90日を記録し、また、毎年大型化する世界で起こる山火事も、今年はカナダやハワイのマウイ島で甚大な被害をもたらしました。

これらは、私たち人間が地球温暖化対策を怠ってきたことによる気象変動の影響でしょうか。

地球温暖化対策のためには身近にある森林の働きが重要です。その森林を整備し、木材二酸化炭素を吸収した木材を使用することを促進している森林組合の事業や取組は、地球温暖化対策になくてはならない存在となっています。

私たちが携わっている森林整備や木材利用は50年100年の長い月日が必要ですが、一つ一つ着実に進めていく重責を担っていると感じています。

暑かった夏も10月に入った途端、急激な気温の変化が始まりました。

朝晩の寒暖差で、体調を崩さぬようご自愛いただき、短い秋を楽しみましょう!

K・S